



↑伊藤県知事、中村県議が来町



↑役場応接室で概況を説明

新たな「法整備」のために 国会議員、県知事、 県議会議員 が赤潮対策に全力

9月9日、赤潮で養殖ブリ、カンパチが過去最悪の被害を受けたため、国会議員らが同町の被害現場を視察しました。

まず、役場応接室で東町漁協から被害内訳が説明された後、針尾公園から眼下に広がる養殖いけすや、宮ノ浦の死魚埋設地を視察しました。

その後、湊井漁港で赤潮被害支援激励会があり、500人の漁業関係者が詰めかけました。

石破茂衆議院議員は、「養殖産業はこれからの日本には大事であり、国内の養殖業を守らなければならない。今回の赤潮被害の原因究明を行い、今後の対策を講じ、被害補償や経営再建への融資を盛り込んだ法律を臨時国会で、必ず通したい」と強調されました。

そのほか、加治屋義人参議院議員、野村哲郎参議院議員、小里泰弘衆議院議員も参加。